



東海中新聞

NO. 381
令和5年3月号

競争ではなく

共創する

校長 今枝武司

テレビ番組で元シャープの副社長の佐々木正さんの特集を行っていました。人となりもさることながら、突き進んでいくスピードとバイタリティーがすごくて番組に釘付けになりました。

佐々木さんはシャープの前身、早川電機に入社し、電卓開発に着手します。佐々木さんが中心になって開発した電卓は、部品数四千個、重さ二十五kg、価格五十三万五千円でした。当時の初任給が一万九千円の時代ですから、ただだけ高価だったかわかります。「八百屋の奥さんが使える計算機」を合言葉に軽量化量産化に着手します。MOS LSIの量産が必要と判断して国内メーカーに声を掛けましたが、どこも技術的に困難として応じてくれませんでした。それどころか周りに驚かれて、ちよつと引かれてしまったのです。それでも、世界中を飛び回り量産にこぎつけ、九年後には重さ二〇〇g、価格二万六千八百円、そしてついに、十三年後には重さ六十五g、価格八千五百円の電卓を開発しました。このLSIは今のパソコンやスマホにも使われています。佐々木さんがいなかったら世界はどうなっていたのでしょうか。私たちは手にできなかったものが多かったはず。

番組を観て「あきらめない」ことの大切さを感じました。周りから何を言われようと自分の信じたことをあきらめない。そんな強さと言うかひたむきさがかっこいいなと思いました。

佐々木さんの言葉で印象に残ったのは「いいかい、君たち。分からなければ聞けばいい。持っていないなら借りればいい。逆に聞かれたら教えるべきだし、持っているものは与えるべきだ。人間、一人でできることなどたかが知れている。技術の世界はみんなで共に創る『共創』が肝心だ」

企業というと、新しいものを開発すると特許を取って他には教えないものだと思っていました。他社が真似る製品を作れ」と指示を出し、互いに競い合う「競争」ではなく、共に創る「共創」が大切だと五十年以上も前に打ち出したことに感動しました。お互いのアイデアを共有し、互いを認め、尊重し合うということだと思います。これからの時代は「共に」がキーワードとなるでしょう。他者と手を取り合って共に生きていく世の中になっていきま

す。価値観が違う人を避けるのではなく、価値観が違う人が集まるからこそ新しい価値が生まれてくるとも言われます。生徒会役員も多様性という言葉を使っています。多様性を認め共創する世の中を生き抜いていってください。



三年間の思い出

そんなスタートダッシュでも新鮮

三年四組

新生活への不安がさらに増した休校。中学校生活はそんな始まりでした。

ソーシャルディスタンス以上に心の距離を感じたマスク越しの生活。その中でも、その距離を埋めるために一人一人が自ら考え行動し、お互いを支え合えるようになっていきました。

今振り返ると、数々の制限があったそんなスタートだったからこそ、新たな自分に出会えた、新鮮でいい機会となりました。

学びがあった新人戦

三年二組

緊迫した空気が漂う中、僕たちの試合が始まった。相手は優勝候補の矢作中学校。四回まで好調のスタート、五回から異変が起こった。ピッチャーの調子が崩れた。チームの士気が下がり、ピッチャー交代が告げられた。そのまま相手に流れをもつていかれ敗北してしまった。この大会からあきらめないことの大切さ、そして、相手はどこであるかと全力をぶつけることを学んだ。この経験を高校でも忘れずどんなことにも全力で取り組みたい。



スキー学習から得たもの

三年三組

スキー学習に行くまではスキーをやったことがなくとても不安でした。しかし、インストラクターさんが丁寧に教えてくださったので、二日目にはしっかりと滑れるようになっていて、とても楽しかったです。

立志の式では、両親から手紙をもらい、自分の将来のことを考えると共に両親へ日頃の感謝を伝えることができました。

このスキー学習を通して、僕は心も体も成長できたと思います。次の進路でも頑張りたいです。



あつという間の三年間

三年一組

私は三年生になり、二年間ってこんなに短かったかなという思いと、もう受験生なのだという焦りを感じていました。勉強量を増やさないとはいものの、なかなか急に変わることは難しく、行き詰っていました。でも、何か変えていかないとと思い、今まであまりできていなかった解き直しを国語と数学、特に数学で頑張ろうと決めました。それからはコツコツと教友や問題集の解き直しを頑張り、志望校に合格することができました。

僕と部活とバレーボール

三年一組

僕が三年間の思い出の中で、一番強く印象に残っているのは部活動だ。

しかし、チームで四度の大会を経験したが、良い結果を残すことができなかった。悔しかった。今頑張っている後輩たちには、悔いのないよう頑張ってもらいたいと思う。そして、最後まで共に頑張ってくれた仲間たちには、感謝してもしきれないものがある。ありがとう。

僕の頑張った部活動での三年間は、僕を選手として成長させたし、人生の糧にすることができた。

体育大会での思い出

三年四組

私は三年生で思い出に残っている事があります。それは体育大会です。

体育大会では、クラスだけじゃなく同じ組の後輩を率先して応援し、より学校の絆を深めることができました。

そして、やはり東海中の伝統である「東風」が印象的です。三年生は一回の本番のために暑い中、短い間でも完成度をぐんと上げ、最高の「東風」になったからです。

最後までやり切り、東海中の伝統を受け継ぐことができました。そのような気がしました。



行こか！笑おか！OCTOPASS！

三年二組

中学三年間の一大イベントである修学旅行。コロナ禍で実施が心配されましたが、無事に大阪・兵庫に行くことができました。名古屋オリがなかったのも、自分たちだけで計画を立てて、行動するのは初めてでした。途中、気の緩みによる注意もありましたが、そこから学ぶこともあり、再出発することができたと思います。

普段は見えないような仲間の姿やあまり話したことのない人とも仲を深められ、多くの人と思い出に残る良い旅になったと思います。



団結

三年三組

中学校最後の文化祭。その中で私特に力をいれたのは、合唱コンクールです。クラス曲は「証」です。クラス全員で金賞を目指し、パート練習や全体練習など日々の練習を頑張ってきました。

本番当日の直前の声出し。クラス全員が一つになった気がしました。そして本番の歌では、今までで一番いいものになりました。

結果は惜しくも銀賞でしたが、クラスの絆がより深まり良い思い出になりました。



贈る言葉

笑顔で前向きに
三年主任二組担任



つらいとき、つかれたとき、眠い朝、いつでも周りの人の笑顔で元気になれる。そうやって周りの人に幸せを与えられる。「笑う門には福来る」卒業おめでとう。これから先、楽しいことばかりではないかもしれない。つらい、苦しいこともあるかもしれない。それでも、笑って前を向いていれば自分も周りもしあわせになるはず。いい男、いい女になってください。ありがとう。



幸せになってね
三年一組担任



大好きです、みんなのこと。だからみんなには、これからもずっと幸せであってほしいです。他人と比べず、自分の今ある幸せに目を向け、自分自身を好きになり、たくさん笑ってください。そして自分ができる死に物狂いの努力をしてください。あなたたちはまだ十五歳。今からなら、何でもできるし何にでもなれます。可能性は無限大。将来いつかどこかで、きらきら輝くみんなに出会えるのを楽しみにしています。

夢をかなえる秘訣
三年三組担任



それぞれの道に進み始めるみなさんへ、先生が尊敬するウォルト・ディズニーの言葉を贈ります。夢をかなえる秘訣は、「好奇心」「自信」「勇氣」そして「継続」である。人生の主役はあなたです。どんなことにも好奇心をもち、大好きだと胸を張って言うことを、たくさん見つけてください。大好きなことは継続できます。それらはやがて経験という宝物になり、自分に自信をくれます。挑戦する勇気をくれます。みなさんの人生が豊かなものになり

ますように。ご卒業、おめでとうございます。

藍より青く
三年四組担任



藍染は奈良時代に伝わった染色技法です。青は藍という植物で染められます。藍よりも遥かに美しい青になります。授業やその他の指導に力を尽くしてきたつもりです。しかし、力不足のため、至らない授業や指導もあったことでしょう。それでも皆さんはいつも前向きで、多くの学びや笑顔を生み出してくれました。心から感謝しています。学びを通してさらに魅力的な人になり、青く青く輝く人生を送ってください。大好きな皆さんの活躍を今後も応援しています。

笑顔の素敵な三年生
三年副担任



卒業おめでとうございます。毎朝、元気に登校してくる皆さんの笑顔を見ながら、元気をもらっています。卒業しても、東海中で築いた明るく前向きに取り組む姿勢を忘れずに、いろいろなことにチャレンジしてください。皆さんの可能性はまだまだたくさんあります。今後の活躍を期待しています。

待っています。今よりもさらに素敵な人になった皆さんに会える日を楽しみにしています。

幸せな人生を
進路指導主事



これからの人生では、楽しいこと辛いこと、嬉しいこと悲しいことがいっぱいやってきます。でも、生まれてきたからには幸せな人生を送ってください。幸せの感じ方は人それぞれです。だから、自分の幸せを大事にしてください。君たちは成長を続けるなかで幸せのかたちも変わっていきます。その時その一瞬の幸せを大事に生活していくてください。卒業おめでとうございます。これからも応援しています。

1000日のドラマ
九組担任



中学校生活1000日のドラマが始まった。一人ひとりが主人公だ！先生たちは世界一のサポーターになるぞ！三年前の四月の学年通信第一号にこのような文章を書いた。そして、もうすぐこのドラマが終わろうとしている。

三年間、百本以上のドラマを見せてもらい、どの作品も素晴らしかった。ぜひ続編も見てみたい。ワクワクする。

**与える側に
F組担任**



卒業おめでとう。皆がこの日を迎えられることは、実は当たり前ではない。

身近な人から目に見えない人まで数えきれないほど多くの人に支えられて、この日を迎えている。

これからも「与えられる」ことは多いと思う。ぜひ感謝の気持ち、謙虚な気持ちを忘れずに、言葉や行動で返せるようになってほしい。それは、「与える」側になるということだと思う。身近な人から見ただけでもない人まで、様々な人に「与えられる」大人になることを期待している。



お祝いメッセーヅ

新しい道を歩むみなさんへ

三年生保護者

コロナの流行と共にスタートした中学校生活。たくさんの制限がある中、懸命に頑張り、楽しみ、心も体も成長したみなさん。時には辛く、悲しい事もあったと思います。そんな中もがいている姿を見ていながら、私たち大人は上手に聞き、助けてあげられなかったかもしれない。でも、いつも君達の事を思っています。世界でたった一人の大切な人なのだから。

これから、自分の決めた新しい道を歩き出す君達を信じ、ずっと応援しています。

ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんへ

三年生保護者

三年生の皆さんの学校生活は長い春休みから始まり、分散登校やオンライン授業、マスク着用での授業等、今までから想像もしてこなかった学校生活を過ごすこととなりました。しかし、見事に三年間を完走することができたことを皆さんと一緒に喜びたいと思います。

これからは、各々進む道は違っても、それぞれの居場所や目標に向けていろいろなチャレンジを行い、成功や失敗を繰り返すことでしょう。そんな経験を重ねつつ、大きく成長していく

姿を期待しています。ご卒業おめでとうございます。

「卒業おめでとう」が届きます

三年生保護者

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学校三年間で心身ともに大きく成長されたことでしょう。春からは自分で決めた道へ進む時がきましたね。それがどんな環境であっても自分の置かれた環境で、どんなことでも悔いが残らないように全力で頑張ってください。

そして、周りの友達を大切にして、関わる方々に感謝の気持ちを忘れず、目標に向かって頑張ってください。ずっと応援しています。

経験は宝

二年生保護者

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍で始まった中学校生活は、最初はとても不安だったと思います。でもこの三年間で心も体も大人に近づき、皆さんはとても成長したと思います。

春からはそれぞれの道を歩み、さらに多くの人と出会い、たくさんの経験を積んでいくでしょう。誰でも、最初は初心者です。失敗を恐れず、いろんなことに挑戦していきましょう。その経験全てが、皆さんの糧となります。大事にしてくださいね。

皆さんのこれからの人生が、実り多い充実したものになるよう、心から応援しています。

お世話になった先輩方へ

二年四組

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先輩達と過ごした二年間はあっという間でした。特に野球部の先輩達にはとてもお世話になりました。

入部当初、わからないことばかりだった僕に、先輩達は優しく声をかけてくれました。試合では、みんなを盛り上げ、頼れる先輩でした。部活動以外でもたくさん話すことができ、とても楽しかったです。そんな先輩達と一緒に野球ができたことは、これから先も忘れることはありません。先輩達のように後輩から尊敬されるように、思いやりをもって接していきたいと思います。本当にありがとうございます。

憧れの三年生

二年三組

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先輩方に学校でもう会えないと思うと寂しく感じます。

三年生は今まで東海中の先頭に立ち、一・二年生を引っ張ってくださいました。特に体育大会の東風では、演技をしているときの真剣な眼差しがカッコよく、その姿に憧れをもちま

した。また、文化祭では、全校生徒がピースできる会にしようとテーマを決めて会を企画しました。先輩方と一緒に文化祭を創り上げることができてうれしかったです。

四月からは私たちが最高学年になります。少し不安はありますが、先輩方のように精一杯頑張ります。

憧れの先輩

一年五組

私がこの一年で、たくさん先輩方に助けられたなと感じることは部活動です。私が所属している吹奏楽部で入部した時の時、どうやって吹くのか、指をスムーズに動かすにはどうしたらいいのかなど、分からないことだらけでした。

でも、その時同じパートの先輩が、「ここはこうやって吹くといいよ」などと分かりやすく教えてくれました。他にも、合奏中や次の行動で迷っていた時など、先輩方が「大丈夫？」と声をかけてくれました。私は多くの場面で先輩方に支えられました。三年生の先輩方は私たちの見本となり、東海中を引っ張ってってくださいました。私も来年、先輩方のようになれるように頑張りたいです。ご卒業おめでとうございます。

教育随想

やまなみ

一人一人が輝き主役となる東中生

二年主任

「急な斜面でも、仲間が挑戦する姿を見て勇気がわいた」「夜レクのダンスが苦手だったけど、上手な友達に引張ってくれたおかげでダンスが好きになった」「スキー学習での生徒の言葉である。この言葉から、東中生の、共に高め合う姿、失敗してもくじけずに挑戦する姿がうかがえる。

教室では、分からないことがあると仲間聞き、課題解決に取り組むことで、共に高め合う力が育まれている。全ての学年で、行事ごとに実行委員を中心に自主的な活動を展開することによって、励まし合う仲間の存在に気付くことができている。加えて、保護者の方が、お子さんの成長に気付いた時に、大いに褒める等お支えいただいている。このような手立てが一助となり、生徒自身は自分の成長に気付くことができ、学びの自覚へつながるのである。

生徒同士だけでなく、教師や保護者の方も含めて、認め合うことで、さらに一人一人が輝き主役となる東中生へつながると願っている。

おめでとう

うございます

父母教師会会長

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。東海中学校で過ごした三年間はどうか？

コロナ禍での中学校生活ということで、日頃の生活だけでなく部活や学校行事なども思うようにできないこともあったかと思えます。そんな中でも、少しでも皆さんが楽しく思い出に残るような行事ができるようPTAとしてもお手伝いをしてきましたが、どんな時も笑顔で一生懸命に取り組んでいる皆さんの姿を見ることができ、私たちにとても素敵な思い出になりました。

四月からは、それぞれ違った進路へ進んで行く事になります。これまでの義務教育では感じた事のない様々な出来事が押し寄せてくるでしょう。しかし、この東海中学校で学んだことを礎とし、失敗を恐れずに次の目標に向かって進んでいってください。

東中PTAだより

東海中 PTA
広報委員会
第 218 号

今年度のPTA活動を振り返って

広報委員長

広報委員会では、東海中新聞のコーナーの一つ「東海中PTAだより」を通じて、専門委員会の活動日より、竜谷学区ベストスポーツ、市長杯観戦記、体育大会観戦記、マラソン駅伝大会・もちつき大会の感想などを掲載し、ご家庭へ学校の状況をお届けすることができました。

また、広報委員会のメンバーには体育大会、文化祭、もちつき大会、おかざきつ子展の搬入などの各種イベントのお手伝いにもご協力いただきました。特にもちつき大会の手伝いを通じて、受験勉強を頑張る三年生が臼と杵で餅をつく姿、自分たちでついた餅をおいしそうに食べる姿を間近で見たり、子供たちだけでなく参加したメンバーも元気をもらうことができました。

この一年、先生方や委員会メンバーや原稿にご協力いただいた皆さんのご協力のおかげで無事に活動を進めることができました。関係いただいた

皆様に感謝申し上げます。

安全指導委員長

安全指導委員会の主な活動内容は、月二回の交通安全立哨です。通学する生徒や一般の通勤者に対しても安全を呼び掛けることで、より安全な通路の確保に努めました。

また、立哨する理事の方から、自転車通学する生徒の荷台の紐が外れ、自転車に絡まって荷物が落ち、立ち往生する生徒がいると報告があったため、中学校の担当の先生に掛け合い、紐以外の道具の紹介や固定方法を再検討し周知することで、自転車通学する生徒の安全性向上にも努めました。

行事の活動については、体育大会の駐車場整理やマラソン大会の交通指導を行い、事前に先生方や理事の方々の打ち合わせや連絡を密に取ることに、円滑な活動ができました。最後に、理事や先生方は勿論、保護者の皆様には一年を通じて安全指導委員会の活動についてご理解、ご協力い

ただき感謝いたします。一年間ありがとうございました。ございました。

文化教養委員長

自国の文化について教養を身につけることは他国の人と交流する場役に立ち、国際社会を生きていく上で大切なこと。このことを念頭に置き今年一年間、委員会の中で話し合いながら活動につなげていきました。

他国の人が興味を持ってくれそうな日本の文化を探してみると、意外と私たちの身近なところがありました。箸、お好み焼き、鯉節、折り紙、水引き、和菓子、門松そしてガンダムプラモデルまで多くの日本文化が見つかり、その中から今年度は「しめ縄」と「リース」を題材とした制作講座を開催しました(リースの材料に用いたアジサイの原産国は日本です！)

子どもたちにも学んで欲しいという思いから、今年度の講座は保護者だけでなく生徒の参加も可としました。友達の作品を横目で見ながら懸命に制作する生徒の姿や、親子睦まじく花材の位置決めを悩むさまを見ると、何かほっこりする気持ちになりました。将来、この子どもたちが教える立場になったときのことを想像すると、今年度の活動は満足のいくものでした。最

後に委員の皆さんへ「一年間お疲れさまでした。」

生活環境委員長

今年度もコロナによる影響で大変な状況でしたが、予定をしていた委員会活動は無事に終わることができました。

六月の草刈りでは、委員やおやじの方々に多く参加いただきました。例年以上に草を刈りきることができ、テニスコート周りがすっきりしました。

今年度は岡崎中央総合公園でおかざきつ子展も開催されました。小雨の降る中でしたが撤収作業にご協力いただきましたありがとうございます。

豚汁の会では、おかわりが足りなくなり六つの鍋が空になるほど大人気でした。

役員を通じて色々な学校行事に参加しましたが、子供たちの学校生活を間近で見ることができ充実した一年間でした。皆様のご協力のおかげで無事にPTAの役員を務めることができました。支えてくださった皆様、先生方に感謝します。一年間ありがとうございました。